

こどもおおむたけんてい

ガイドブック 小学1・2年生用

大牟田市教育委員会



子ども大牟田検定ガイドブック (小学1・2年生用) について

私たちが生まれ育った大牟田には、じまんでできる多くの宝ものがあります。このガイドブックにのせている宝ものとは、大牟田のすばらしい自然や昔から伝わっているものなどのことです。大牟田にあるたくさんの宝ものを、下の七つのまとまりにして、このガイドブックにのせています。

① 石炭に関するもの

② 建物や公園など

③ 自然（海や山、川など）

④ 生き物

⑤ 伝統（祭りなど）

⑥ 人（大牟田のためにがんばった人など）

⑦ その他



大牟田には、このガイドブックにのせているもの以外にも、たくさんの宝ものがあります。ガイドブックにのっていない宝もののことは、お家の人に聞いたり、図書室で調べたりしてみましょう。

このガイドブックは、次のことに気をつけて作っています。

- 宝ものについてよく分かるように、写真と文を使って説明しています。
- 「子ども大牟田検定」で出される問題の内容を、全てのせるようにしています。

● 保護者の皆様へ

子ども大牟田検定は、大牟田の子どもたちに郷土の良さを知ってもらうため、平成23年度から行っているものです。検定では、大牟田の宝ものについてたずねる問題が出されます。

小学1・2年生も大牟田の良さを学ぶことができるように、「大牟田検定ガイドブック(小学1・2年生用)」を作成しました。このガイドブックには、子ども大牟田検定に出題される大牟田の宝ものがのせられています。

ぜひ、お子様と一緒にガイドブックをご覧ください。子どもたちが、大牟田の良さをたくさん発見してくれることを願っています。

大牟田市教育委員会

大牟田の宝もの

① 石炭に関係するもの	1	宮原坑(みやのはらこう)
	2	三池炭鉱専用鉄道敷跡(みいけたんこう せんようてつどうじき あと)
	3	三池港(みいけこう)
	4	MPLC石炭館(えむぴいえるしい せきたんかん)
② 建物や公園など	5	大牟田市役所(おおむた しやくしょ)
	6	カルタックスおおむた(かるたっくす おおむた)
	7	八ちゃん堂大牟田市動物園(はっちゃんどう おおむたしどうぶつえん)
	8	記念グラウンド(きねん ぐらうんど)
	9	延命公園(えんめい こうえん)
	10	諏訪公園(すわ こうえん)
④ 自然	11	有明海(ありあけかい)
	12	三池山(みいけざん)
	13	大牟田を流れる主な川(おおむたを ながれる おもな かわ)
	14	石炭(せきたん)
⑤ 生き物	15	ムツゴロウ(むつごろう)
	16	カスミサンショウウオ(かすみさんしょううお)
	17	ベニアジサシ(ベにあじさし)
⑥ 伝統	18	おおむた「大蛇山」まつり(おおむた「だいじゃやま」まつり)
	19	三池初市(みいけ はついち)
⑦ 人	20	團 琢磨(だん たくま)
⑧ その他	21	大牟田の美味しいもの(おおむた の おいしいもの)
	22	大牟田に伝わるお話(おおむた に つたわる おはなし)

宮原坑 (世界文化遺産)

場所 大牟田市宮原町 1-86-3

石炭をほるために 100年以上前につくられた建物が、今も残されているよ



宮原坑では、昔、地面の下にある石炭をたくさんほっていました。一日で、およそ 450 頭のゾウと同じ重さの石炭がほられていました。銀色の大きな建物は、地面の下に行くためのエレベーターのような機械です。

地面の下で石炭をほると、地面の下にたまった水が、たくさんわいてきます。そこで、そ

の水をストローのように吸って外に出すため、世界で一番大きなポンプが取り付けられていました。宮原坑は、2015年に世界の宝ものとして認められ、世界文化遺産に登録されました。

三池炭鉱専用鉄道敷跡 (世界文化遺産)

場所 大牟田市宮原町、米生町、青葉町などのあたり

ほりだされた石炭や、ほるために必要な道具などを運んでいた鉄道(線路)の跡だよ



ほり出された石炭などを運ぶために作られた線路の跡です。線路の上に石炭を積んだ貨車をのせて、運んでいました。

はじめは、貨車を馬が引っばって動かしていました(馬車)。つぎに、石炭を燃やして動く蒸気機関車が、貨車を引っばるようになりました。そして、最後には、今と同じように、電

気の力で動く電気機関車が、貨車を引っばるようになりました。三池炭鉱専用鉄道敷跡は、2015年に世界の宝ものとして認められ、世界文化遺産に登録されました。

三池港 (世界文化遺産)

場所 大牟田市新港町1

ほりだされた石炭を運び出すためにつくられた港で、今でも活躍しているよ



ほり出された石炭を、船で運び出すために、團琢磨さんが考えて作った港です。

石炭を運ぶための大きな船が浮かんでいられるように、海の底がほられています。また、プールのように海の水をためて、船を浮かべておく仕組みも作られています。

三池港を空から見ると、ハチドリという鳥の

姿に見えることから、ハチドリの英語の名前である「ハミングバード」と呼ばれることもあります。

三池港は、2015年に世界の宝ものとして認められ、世界文化遺産に登録されました。

MPLC 石炭館

場所 大牟田市岬町 6-23

石炭に関係する人やもの、ことについて調べたり、体験したりすることができる場所だよ



石炭のことについて学ぶことができる場所です。

石炭をほるときに使っていた道具や機械が紹介されていたり、日本で初めて石炭が発見されたときの様子をかいた絵が飾られていたりしています。

また、地面の下で石炭をほる様子を見るこ

とができる、「ダイナミックトンネル」というコーナーには、石炭をほるときに使っていた大きな機械が、いくつも紹介されています。

場所 大牟田市有明町 2-3

1936年につくられ、大牟田空襲にも耐えて、今でも使われているよ



大牟田市のために、たくさんの人が働いている場所です。昔、戦争があったとき、大牟田市の建物は爆弾によってたくさん壊されてしまいました。しかし、市役所は壊されることなく、今でも使われています。

市役所の建物は4階建てです。中央にある高い塔のようなところは、9階建てになって

います。とても古い建物なので、建物の中には、飾りのついた柱や、昔使われていた暖炉などが残されています。

場所 大牟田市宝坂町 2-2-3

「カルタックスおおむた」には、大牟田市立図書館と三池カルタ・歴史資料館があるよ



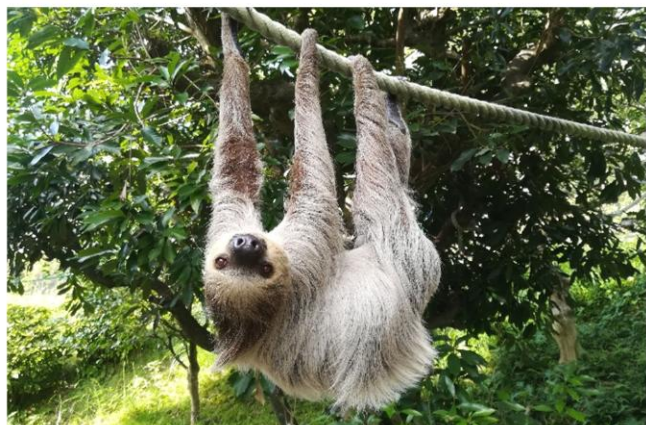
カルタックスおおむたは、三池カルタ・歴史資料館と、大牟田市立図書館がひとつになった建物です。「カルタックス」という名前は、「カルタ」と「ブックス（「本」という意味の英語）」を合わせて名づけられました。

図書館では、たくさんの本を読んだり借りたりすることができます。

また、三池カルタ・歴史資料館では、世界中から集められた、めずらしいカルタやトランプなどを見ることができます。

場 所 大牟田市昭和町 163

映画「いのちスケッチ」の舞台にもなった、動物の幸せを考える動物園だよ



大牟田市動物園では、いろいろな種類の動物を見ることができます。

また、大牟田市動物園は、動物が幸せに生活できることを大切にしています。動物が、動物園の中で生活していても、自然の中で生活していると感じられるように、ごはんのあげ方などが工夫されています。

また、動物の健康調べなどをするとき、ふつうは動物に注射して眠らせてから行いますが、注射しなくても健康調べなどができるように、動物をトレーニングしています。

場 所 大牟田市黄金町 1-123

大牟田市役所よりも前に完成した、本格的な陸上競技場だよ



記念グラウンドは、今の太田市の役所の建物よりも前に作られました。

そのあと、雨が降っても地面に水がたまらないように、また、運動する人がすべらないようにするための工事が行われて、今のグラウンドが完成しました。

記念グラウンドでは、いろいろなスポーツ

が行われています。10月には、スポーツ市民の祭典が行われています。また、1月には、市民健康マラソンが行われています。

場所 大牟田市昭和町 223

おおむたアリーナや大牟田市動物園、延命プールなどがある、とても広い公園だよ



えんめいこうえんは、とても広い公園です。公園の
なかには、おおむたアリーナや大牟田市動物
園、延命プール、延命球場など、たくさんの
建物があります。

また、「ふれあいの丘」「いのちの森」「お
花見広場」などもあり、お花見広場にはたく
さんの桜の木が植えられています。

2026年には、おおむたアリーナのとなりに「芝生広場」がつけられました。芝生広場では、たく
さんの遊具で遊ぶことができます。

場所 大牟田市岬町 1-3

サッカーコート約31面ぶんの広さがある、とても広い公園だよ

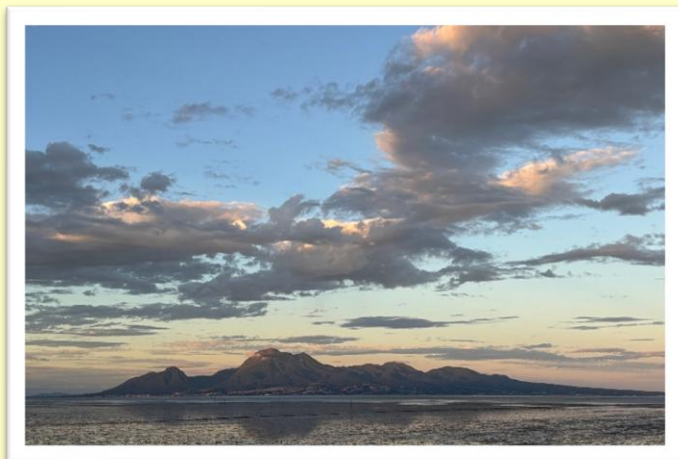


すわこうえんは、とても広い公園です。前は海
だったところを埋めて、作られています。諏訪
公園には、「文化交流ゾーン」「レクリエーシ
ョンゾーン」「スポーツ休養ゾーン」の3つの
場所があります。

文化交流ゾーンには、展望の丘や郷土の
森、ふれあいの池などがあります。レクリエー

ションゾーンには、たくさんの遊具がある冒険広場や自然観察の池などがあります。スポーツ休
養ゾーンには、サッカーなどができる多目的広場やテニスコートなどがあります。

場 所 大牟田市の西側

し お み ひ さ に ほ ん い ち お お う み ひ が た ひ ろ
潮の満ち引きの差が日本一大きな海で、干潟が広がっているよ

う み み ず た か ふ ろ は い
海の水の高さは、お風呂に入ったときのよ
うに高くなったり、お風呂から上がったときの
ように低くなったりします。有明海は、高いと
きと低いときの差が5メートル以上あります。

あ り あ け か い
また、有明海には、たくさんの川から多くの
つ ち す な は こ つ ち す な
土や砂が運ばれてくるので、その土や砂が
た ま っ て う み ひ が た ひ ろ
たまって、海には干潟が広がっています。

ひ が た
この干潟には、ムツゴロウなどのめずらしい生き物がすんでいます。また、広い干潟や海の高
さのちがいを生かして、たくさんの海苔が作られています。

場 所 大牟田市の東側

お お お た し い ち ば ん た か や ま さ ん ち ょ う ち か み い け ぐ う で ん せ つ い け
大牟田市で一番高い山で、山頂近くには三池宮と伝説の3つの池があるよ

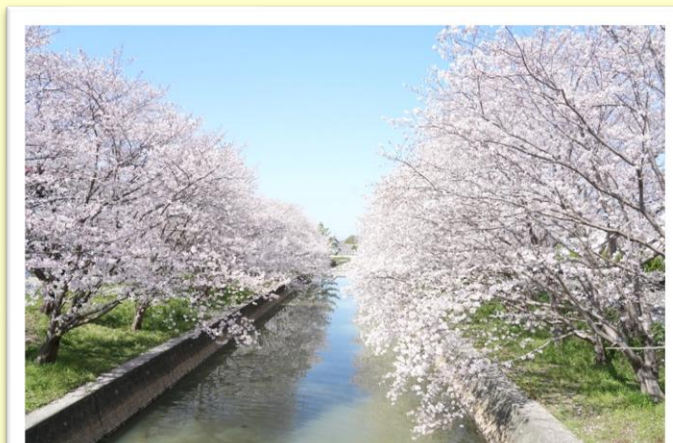
お お お た し な か い ち ば ん た か や ま た か
大牟田市の中で、一番高い山です。高さは
388m あります。

み い け ざ ん ち ょ う じ ょ う ち か
三池山の頂上の近くはながめがとてもよ
く、阿蘇山や有明海、雲仙などをながめる
ことができます。1月1日には、初日の出を見
く ひ と お お ち ょ う じ ょ う ち か み い け ぐ う
に来る人も多いです。頂上の近くには三池宮
があり、近くに小さな3つの池があります。

い け お お お た つ た お ん ぐ ま は な し な か だ い じ ゃ し め ん
この池は、大牟田に伝わる「ツガニの恩返し」のお話の中で、大蛇があばれて地面にぶつかり、
い け
池となった、といわれています。

場所 大牟田市内

すわがわ おおむたし おおかわなが
諏訪川をはじめ、大牟田市には4つの大きな川が流れているよ



おおむたし すわがわ おおむたがわ どう
大牟田市には「諏訪川」「大牟田川」「堂
めんかわ くまがわ おおかわなが
面川」「隈川」という、4つの大きな川が流れ
ています。

すわがわ くまもとけんなんかんまち なが
諏訪川は、熊本県南関町から流れてくる
かわ くまもとけん せきかわ よ
川で、熊本県では「関川」と呼ばれています。
おおむたがわ わかし こうじょう よご みず なが
大牟田川は、昔は工場の汚れた水が流れて
いましたが、今は、とてもきれいです。

どうめんかわ さくら き う ばしよ はる
堂面川は、たくさんの桜の木が植えられている場所があり、春はとてもきれいです。

くまがわ おおむたし いちばんきた なが かわ おおむたし し あいだ なが
隈川は、大牟田市の一番北を流れる川で、大牟田市とみやま市の間を流れています。

場所 大牟田や有明海の地面の下

おおむた せきたん めいじじだい しょうわじだい にほん はってん ささ
大牟田でとられた石炭は、明治時代や昭和時代の日本の発展を支えたんだよ



せきたん おおむかし しょくぶつ いし
石炭は、大昔の植物が石のようにかたく
なったものです。火をつけると燃えるので、
むかし つか
昔からいろいろなことに使われてきました。

おおむた でんじざえもん はじ
大牟田では、伝治左衛門さんが初めて、
とうかやま せきたん はっけん にほん いちばん
稻荷山で石炭を発見しました。日本で一番
たくさんとられていたときもあり、はたら ひと こう
働く人や工
じょう みせ ふ おおむた
場、お店などが増えて、大牟田のまちはどん

おお おおむた せきたん にほんじゅう つか ひとびと せいかつ やく
どん大きくなっていきました。また、大牟田でとられた石炭は日本中で使われて、人々の生活の役
た
に立っていました。

場所 有明海の干潟

魚^{さかな}だけど干潟^{ひがた}などの陸地^{りくち}で生活^{せいかつ}する、めずらしい生き物^{いもの}だよ



ムツゴロウは、魚^{さかな}ですが、干潟^{ひがた}の上^{うへ}などで生活^{せいかつ}するめずらしい生き物^{いもの}です。

他の魚^{ほかにさかな}と同じようにエラ^{おな}で呼吸^{こきゅう}しますが、他の魚^{ほかにさかな}とちがって、皮膚^{ひふ}でも呼吸^{こきゅう}することができます。また、胸ビレ^{むな}の力^{ちから}がとても強い^{つよ}ので、胸ビレ^{むな}を手^てのように使^{つか}って動く^{うご}ことができます。だから、干潟^{ひがた}の上^{うへ}でも生活^{せいかつ}できます。

干潟^{ひがた}の上^{うへ}には、ムツゴロウによく似たトビハゼ^にもすんでいます。ムツゴロウとトビハゼ^{まが}は間違^{まちが}えられることもありますが、ムツゴロウはトビハゼより体^{からだ}が大きく、体^{からだ}に青い点^{あお}があります。

場所 大牟田の延命公園、甘木山など

九州^{きゅうしゅう}の北^{きた}のほうや西^{にし}のほうにすんでいる、小さなサンショウウオ^{ちい}だよ



サンショウウオの仲間^{なかま}の中^{なか}でも、体^{からだ}の小さ^{ちい}なサンショウウオ^{ちい}です。

サンショウウオは、生ま^うれたときは水^{みず}の中^{なか}で生活^{せいかつ}し、大き^{おお}くなってからは陸^{りく}の上^{うへ}で生活^{せいかつ}する生き物^{いもの}です。

「サンショウウオ」という名前^{なまえ}は漢字^{かんじ}では「山椒魚^{さんしょうお}」と書^かきますが、魚^{さかな}ではありません。

また、カスミサンショウウオの「カスミ」とは、体^{からだ}に朝^{あさ}もや^{もよう}のような模様^ながあることから名^なづけられています。

場所 有明海の初島、三池島など

夏になると卵を産みに大牟田にやってくる、カモメの仲間だよ



ベニアジサシはカモメの仲間で、渡り鳥です。渡り鳥とは、季節によってすむ場所を変える鳥です。暑い季節はすずしい場所へ、寒い季節はあたたかい場所へ、遠くまで飛んでいきます。

ベニアジサシも、7月頃になると大牟田まで飛んできて、9月頃になると、また遠くまで

飛んでいきます。大牟田から飛んでいったベニアジサシが、遠く離れたオーストラリアで見つかったこともあります。

大牟田「大蛇山」まつり

場所 大牟田の大正町や三川坑跡、各地域にて

大牟田で行われていた祇園祭、港まつり、炭都まつりをひとつにした祭りだよ



大蛇山まつりは、大牟田で一番にぎやかなお祭りです。三池地域で、病気を追いはらい、食べ物がよく育つように、大蛇の形の山車を神様にお供えしていたのが始まりです。

大蛇山は、昼はそれぞれの地域で、口から火と煙を出して、悪い虫などを追い払ったり、みんなの健康を願ったりします。

そして、夕方になると、たくさんの大蛇山が大正町に集まり、みんなでパレードします。一万人の総踊りも行われ、たくさんの人でにぎわいます。

場 所 大牟田の三池神田脇通り

まいとし がつ にち がつ にち おこ
毎年、3月1日と3月2日に行われる 300年以上続く市だよ

「市」とは、たくさんの人が集まって、物を
売ったり買ったりする場所のことです。

三池地域では、昔からたくさんの人が集
まり、道具や食べ物を交換していました。それ
が元になって始まったのが「三池初市」とい
われています。300年以上も続けられてい
て、毎年3月1日、3月2日に行われます。

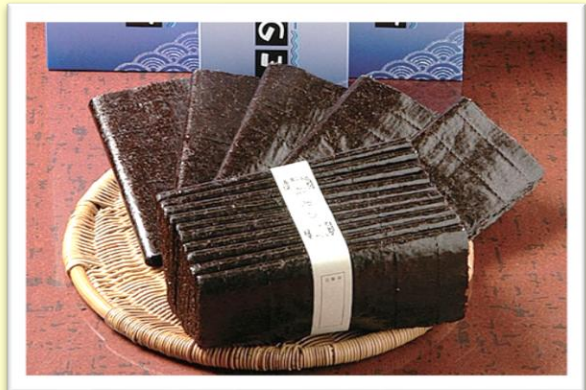
いま み いけしょうがっこう ちか み いけかん だ わきどお おこな
今は、三池小学校の近くの三池神田脇通りで行われており、竹で作った花てばや竹かごを
売
る
お
店
、
み
せ
は
な
な
え
う
え
き
う
み
せ
た
も
の
う
み
せ
な
ら
ひ
と
お
と
ず
花の苗や植木を売るお店、食べ物を売るお店が並び、たくさんの人が訪れます。

おおむ た みらい かんが せきたん しごと と く ひと
大牟田の未来のことを考えながら、石炭の仕事に取り組んだ人だよ

大牟田のことを考えて、石炭の仕事に取
り組んだ人です。

大牟田では、石炭をほるときに、地面の下
にたまった水がたくさんわいて、仕事が出来
ずに困っていました。そこで、團琢磨さんは、
世界一の大きさのポンプを取りつけて、たま
った水を吸い上げるようにしました。

また、たくさんの石炭を運ぶことができるように、三池港をつくることを考えました。三池港をつ
くるとき、團琢磨さんは「石炭がとれなくても、港をつくれれば他の仕事ができるから、大牟田は10
0年後も困らないだろう」と言いました。團琢磨さんは大牟田の未来のことを考えていたのです。

ありあけかいのり
有明海の海苔

有明海は、大きな川がたくさん流れていて、海の高さが高いときと低いときの差が5メートル以上あります。これが、おいしい海苔をつくるためにぴったりです。

大きな川から流れてくる栄養たっぷりの水と有明海の水が混ざることで、海苔は、おいしく育つことができます。

また、海の高さの差が5メートル以上あるので、海から栄養を取り入れたり、太陽の光に当たったりして、おいしくなります。

おおむたまんじゅう
大牟田の饅頭

大牟田では、饅頭や最中など、いろいろなお菓子が作られています。その中でも、草木饅頭やかすてら饅頭は、とても有名です。

草木饅頭は、一口で食べられる大きさの饅頭で、中に白あんが入っています。草木地域で作られ始めたので、「草木饅頭」と呼ばれるようになりました。

かすてら饅頭は、大牟田で初めて作られた焼き饅頭です。草木饅頭と同じように中には白あんが入っていて、生地はカステラと同じ材料で作られています。

かみうち
上内のみかん

昔、柳川市でみかんの研究が行われてわれたとき、とても早く育つみかんの木が発見されました。

そこで、この木を増やす研究をするために、ぴったりの場所が選ばれました。それが、大牟田市の上内地域でした。上内地域の山は「海に近い」「地面に水がたまりにくい」「あたたかくて、太陽がよくあたる」という、みかんを育てるためにぴったりの場所でした。

それ以来、上内では、たくさんのみかんが作られるようになり、他の地域にも広がっていきました。

せき たん はっ けん
石炭の発見



むかし み いけ どう か むら いま みつ い か がくこうじょう
昔、三池の稻荷村(今の三井化学工場の
あたり)に、伝治左衛門というおじいさんが、
おばあさんと一緒に住んでいました。冬の寒
い日、おじいさんとおばあさんは、木の枝を
拾いに稻荷山に登りました。そして、山の頂
上まで登ると、たき火をしようと思いました。する
と、地面にあった石が、たき火と一緒にトロト

口燃え出したのです。石が燃えたので、おじいさんとおばあさんは、とてもおどろきました。そして、
いいことがあるかもしれないと思い、神様においのりしました。家に帰ったおじいさんとおばあさん
は、石が燃えたことを村の人に話しました。村の人は、「石が燃えるなんて、聞いたことがない」と
言って、とてもおどろきました。そして、おじいさん、おばあさんと一緒に喜んでそうです。

おん がえ
ツガニの恩返し



ツガニの恩返しのイメージ

むかし やさ たまひめ むすめ
昔、とても優しい「玉姫」という娘がいま
した。ある日、玉姫は、石の下敷きになってい
たツガニを助けました。ツガニは元気にな
り、それから毎日、玉姫とツガニは仲良く遊
びました。しかし、ある日、大きくなったツガニ
はいなくなっていました。

さて、玉姫の村には、恐ろしい決まりがあり、

玉姫は大蛇のいけにえにされることになりました。玉姫が山で大蛇を待っていると、やがて大蛇
がやってきました。玉姫は「もうだめだ」と思いました。しかし、そのとき、遠くから大岩のように大き
くなったツガニが、玉姫を助けにやってきました。ツガニは、大きなハサミで大蛇とたたかいまし
た。大蛇は、体を3つに切られてしまいました。その後、ツガニも命を落としてしまいました。そし
て、玉姫も見つかりませんでした。玉姫は、神様になったと言われています。

大牟田の宝ものを調べよう

施設	住所・休館日	電話番号
【石炭産業科学館】 ▶ 石炭について調べたいとき	▶ 大牟田市岬町6番地23 ▶ 9:30～17:00 ▶ 【休館日】毎週月曜、12/29～1/3 ※ 祝日と重なる場合は、次の平日	53-2377
【カルタックスおおむた】 ○ 三池カルタ・歴史資料館 ▶ カルタや大牟田の歴史を調べたいとき ○ 市立図書館 ▶ 本を読みたい、調べたいとき	▶ 大牟田市宝坂町2-2-3 【三池カルタ・歴史資料館】 ▶ 10:00～17:00 【市立図書館】 ▶ 火～金 9:30～20:00 ▶ 土日祝 9:30～18:00 ▶ 【休館日】毎週月曜、最終木曜日、12/29～1/3 ※ 祝日と重なる場合は、翌日	【三池カルタ・歴史資料館】 53-8780 【市立図書館】 55-4504
【大牟田観光プラザ】 ○ 大牟田の観光について	▶ 大牟田市不知火町1丁目144-4 大牟田駅東口 ▶ 9:30～18:00 ▶ 【休館日】毎週月曜、12/31～1/1 ※ 祝日と重なる場合は、翌日	57-0101

子ども大牟田検定 運営委員会・編集協力者

運営委員会 大牟田市小学校社会科教育研究委員会
 大牟田市中学校社会科教育研究委員会
 大牟田市小学校理科教育研究委員会
 大牟田市中学校理科教育研究委員会
 大牟田市小学校生活科・総合的な学習の時間教育研究委員会
 大牟田市中学校総合的な学習の時間教育研究委員会

編集協力 大牟田市産業経済部観光おもてなし課
 大牟田市産業経済部農林水産課
 大牟田市企画総務部世界遺産・文化財室

資料提供 古池博文

事務局 大牟田市教育委員会学校教育課指導室

